

多古に南米の風が吹く

ラテンミュージックフェスタ in TAKO



共演した多古高校吹奏楽部の皆さん



文化と音楽の アンサンブル

4月24日に「ラテンミュージックフェスタ in TAKO2022」がポリビアとフォルクローレコンサートがコミュニティプラザ文化ホールで開催されました。

このイベントは地域おこし協力隊の鈴木咲希さんが、多古町の皆さんに異文化と触れ合う機会をつくりたいという思いから企画し、実現しました。

コンサートでは、ボリビア人と日本人のアーティストグループ「GRUPO MIBOLIVIA (グルポ・ミ・ボリビア)」をはじめ、ボリビア人と日本人の混合ダンスグループも登場し、心に響くフォルクローレの音楽と華麗なダンスで観客を魅了しました。

フィナーレでは多古高校の吹奏楽部も共演し、会場を大いに盛り上げ、大歓声の中、幕を閉じました。

「触れる」

異文化交流のきっかけを

コンサートの他にも、ボリビアの文化を知ってもらうためにブースが設置されました。来場者はボリビアのカーニバルの様子などが描かれた絵画を眺めたり、青年海外協力隊（JICA）としてボリビアで活動を行っていた遠藤碧さんからお話を聞きました。

また、コンサートが終わった後、ダンサーもブースに集まり、来場者とともに写真を撮影するなど交流をしました。



- 1 ポリビアの絵画などの展示を眺める方々
- 2 鮮やかな衣装に身を包んだダンサーの方々との記念撮影
- 3 青年海外協力隊（JICA）としてボリビアで活動していた遠藤碧さん

「繋がる」

交流の架け橋へ

今回のフェスタには、ボリビアのナターリア・サラサル臨時代理大使がご来臨され、平山町長と会談した際には、「今回のコンサートをきっかけに、さらに多古町と交流を深めていきたい」と話されていました。

フェスタがきっかけでできたボリビアとの架け橋を町も大切にし、お互いの文化を理解し、友好を築き、より交流を深めていきたいと思えます。



ナターリア臨時代理大使（左から3人目）もご来臨されました。

教えて！
ボリビアのトリビア

ボリビアってどんな国？

ボリビアは南米の中心部に位置し、人口は約1,151万人ほどで、多様な民族が暮らしています。面積は日本の約3倍で、ウユニ塩湖やアンデス山脈、アマゾンの熱帯雨林などのさまざまな気候や環境が共存しているのも特徴です。

他にも、ボリビアの首都ラパスは標高がなんと3,650mもあり、世界最高所の首都であることも有名です。富士山の頂上が3,776mということも考えると、その高さが分かります。

また、今回のコンサートのテーマであるフォルクローレとはラテンアメリカ諸国の民族音楽のことです。ボリビアの都市オルコでは特に先住民の人口が多く、音楽にもその色が強く残ります。

ボリビアのフォルクローレに乗って踊るカーニバルが1年に1度開催され、ブラジルのリオのカーニバルと並ぶ南米三大カーニバルの一つとされています。ボリビアには伝統ある音楽文化や豊かな自然などたくさん魅力があふれています。



元在ボリビア
日本国大使館職員の
地域おこし協力隊
鈴木さん



ボリビアの街並み
（駅の代わりにロープウェイで移動）